



1冊の建築 - 空間を作り出す1ページ -

Background

サービスを入れる「箱」とされる公共建築空間

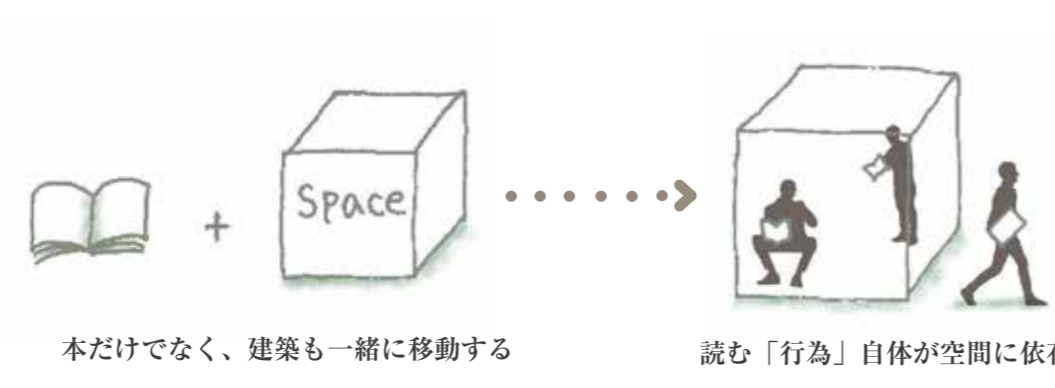
誰にも開かれる公共建築の一つに図書館がある。その中でも移動図書館が行われている。移動図書館では、本だけが専用の車に積まれ各所へ移動していき、建築は置きざりになっている。この移動図書館の現状から、公共建築空間は貸し借りのサービスを行う「箱」という役割だけを担っているように感じられてしまう。



Concept

「物」と「ふるまい」を一緒に移動する

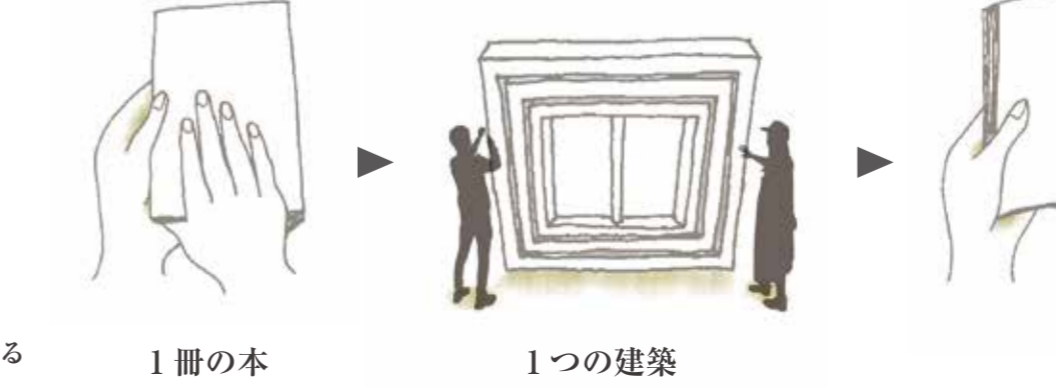
本だけでなく、建築空間も一緒に移動することで、「読む」という「行為」自体が空間に依存するようになる。本の貸し借りの単なる「場」でなく、その「空間」で本を通し、交流が生まれ、ゆっくりと時間を過ごせるような「拠り所となる」建築を提案する。



Diagram

本を開くように、建築を開く

本と共に移動し、本のように開くことができる建築を提案する。本のように閉じることでコンパクトに収納して移動させることができる。移動した先で建築を開くことで空間が生まれる。屋内に移動したときは一つの小さな部屋のように、屋外に移動したときはパーゴラのように人々の居場所となる空間を生み、生まれた空間には人々が集い、思い思いの時間を過ごす。また、読書空間以外にも、公園やホールなど多様な場所に対して、開き方を変化させることで柔軟に対応することができる。



本と共に移動し、本のように開くことができる建築を提案する。本のように閉じることでコンパクトに収納して移動させることができる。移動した先で建築を開くことで空間が生まれる。屋内に移動したときは一つの小さな部屋のように、屋外に移動したときはパーゴラのように人々の居場所となる空間を生み、生まれた空間には人々が集い、思い思いの時間を過ごす。また、読書空間以外にも、公園やホールなど多様な場所に対して、開き方を変化させることで柔軟に対応することができる。

可動域による空間性の変化

最大展開による「個」としての空間

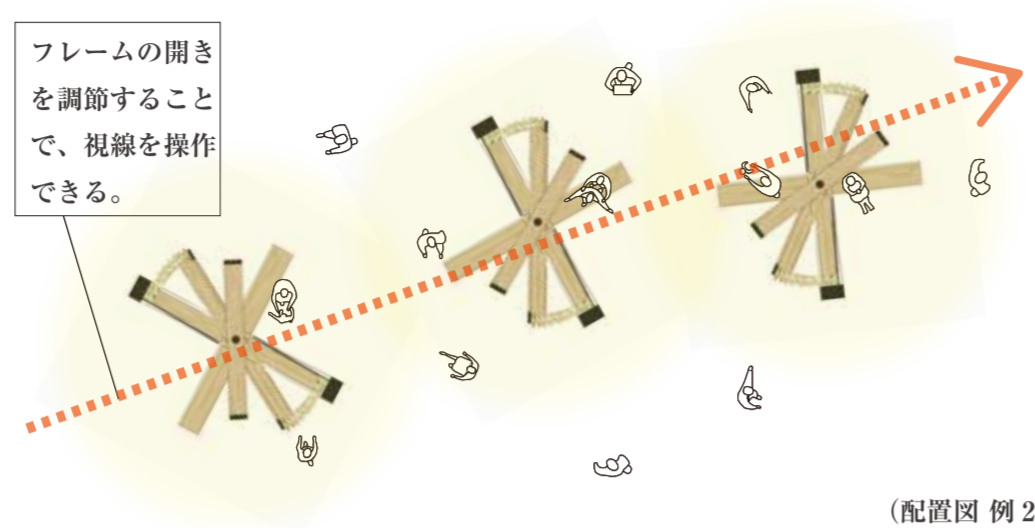
クロスフレームを最大まで広げると内部が開かれて、1つの空間としてより意識される。フェルトの隙間から内部空間が見えるため、外部の気配を感じることができる。



(配置図例1)

最小展開による空間の連続性

クロスフレームを閉じると視線が通りやすくなり、配置空間に方向性をつけることができる。また、複数並べることで、連続する次の空間への期待感を生む。



(配置図例2)

新素材と歴史的素材の融合

フェルト生地による空間

フェルト生地は保温性、防火性、通気性に優れ、また軽量で柔軟性に富む。製造方法によって密度、硬軟、厚みなどを自由に作成できるため、建築材料としての可能性を秘めていると考える。



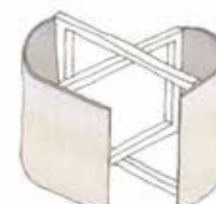
身近な材料を建築材料へ

従来



フェルトは手芸や衣服など身近なものに使われてきた。

提案



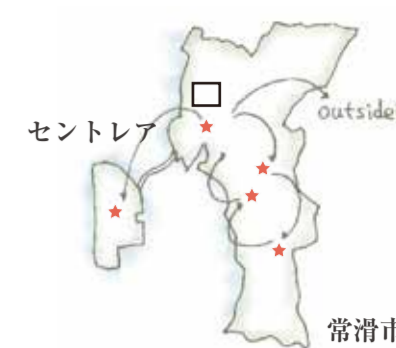
柔らかい肌触りとその耐久性を活かし、空間を包み込む建築材料へ転用する。

黒壁を化粧材として使用する



フレームに使用する

調和と発信



黒壁を建築素材として用いることで、常滑の町並みに調和する。また、この建築が移動することで多くの人の目に触れ、常滑のアイデンティティの発信のきっかけにつながる。



床座空間に配置し、空間の仕切りとして使用する

@ 児童館



連続して並べ、奥への期待感と各空間の繋がりを生む

@ イベント



大空間に配置し、情報発信や人々の拠り所になる

@ エントランスホール

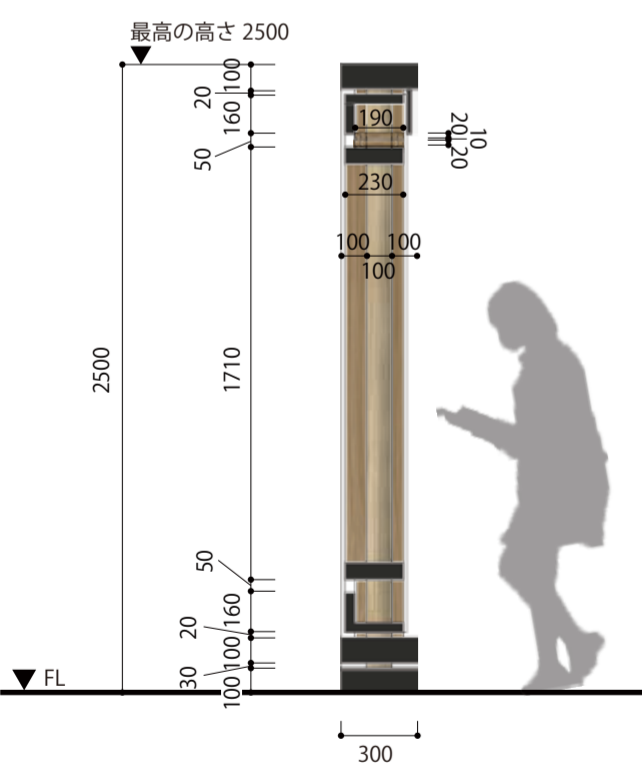


狭い空き地に配置し、休憩所になる

@ 観光地

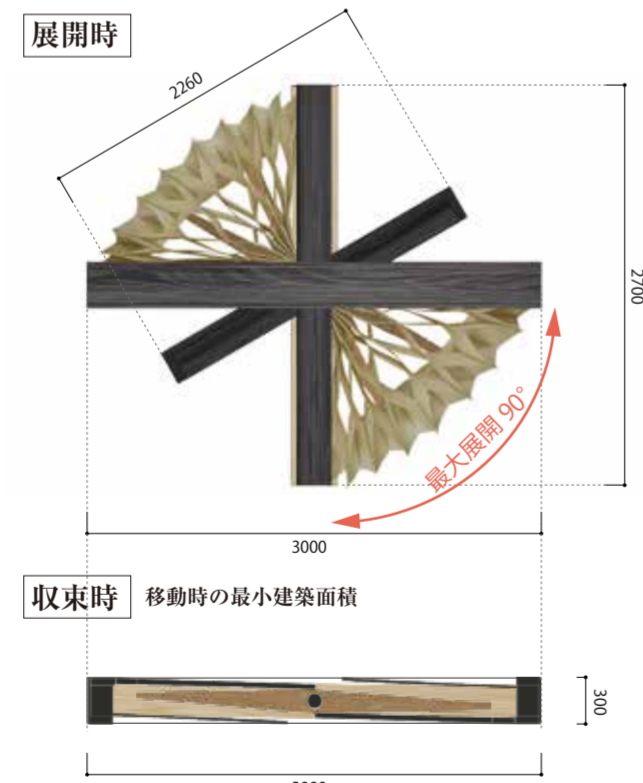
Section

Scale=1/30



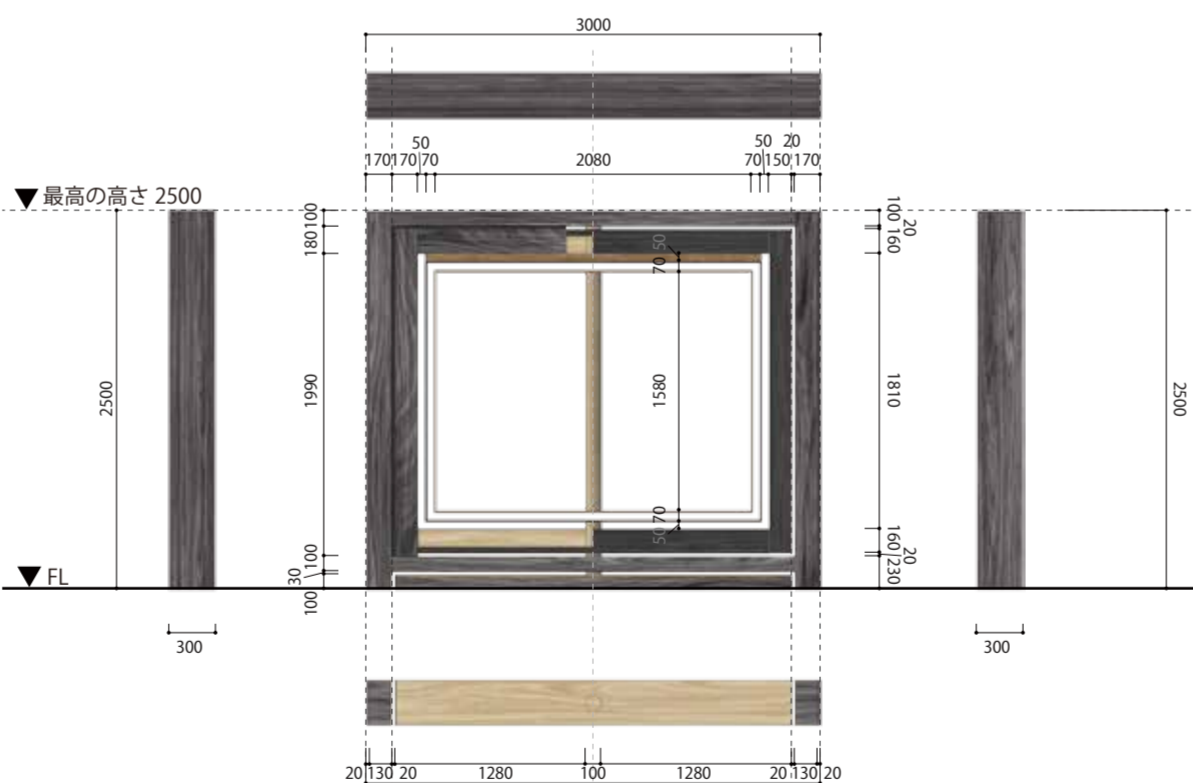
Development

Scale=1/50



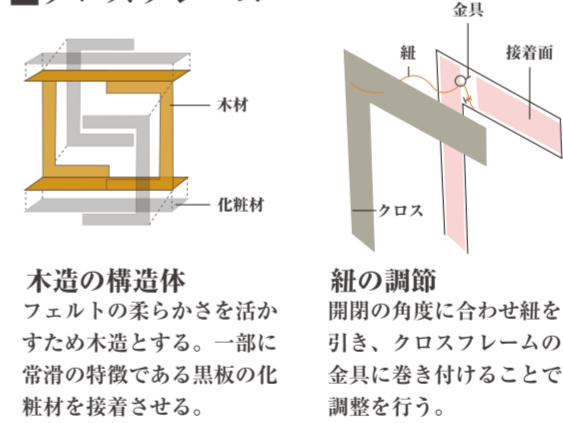
Elevation

Scale=1/50

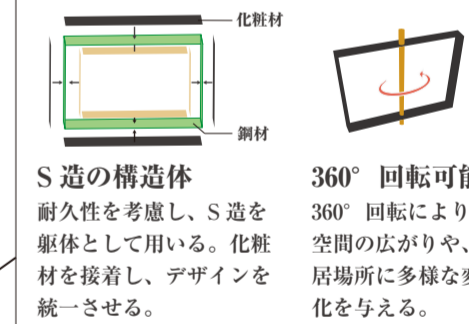


Construction

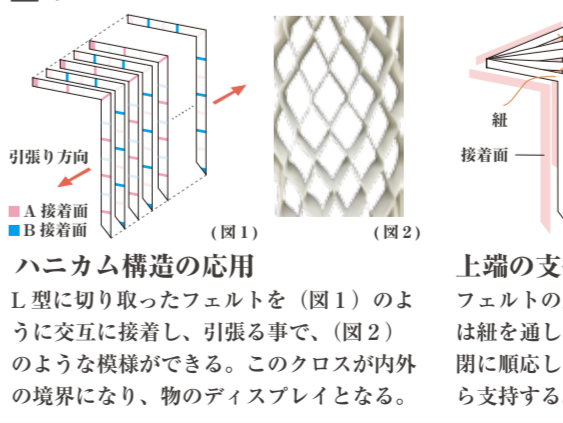
■クロスフレーム



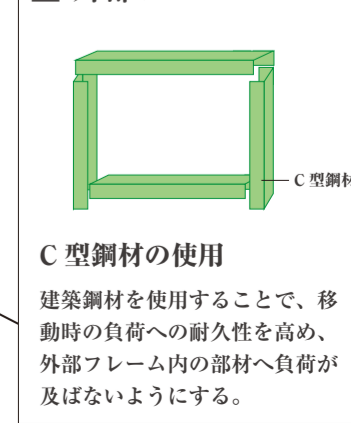
■回転フレーム



■クロス



■外部フレーム



Sequence



最小限の大きさに収めて移動する

脚を回転させ、位置を固定させる

クロスフレームを回転させる

回転フレームを回転させる

クロスに本などをディスプレイする